

- 1 日 時 平成22年〇月〇日 (〇)
- 2 場 所 広島市立〇〇中学校 〇〇学級 (知的障害特別支援学級)
- 3 学 年 特別支援学級 4名 (〇年1名、〇年3名)
- 4 題材名 宝探しをしよう (量と測定)
- 5 題材設定の理由

○ 長さ比べの学習では、一方の端を揃えたり重ねたりして大きさを直接比較する活動を通し、二つまでの長さであれば「長い」「短い」が正確に判断できようになってきた。しかし3つ以上になると迷う場面も見受けられる。単位についてはcmやmmの単位で長さを測る学習をしており、cmのみの目盛りであれば、生徒によっては正確に読むことができるようになってきた。しかし、mmの目盛りが加わると正確に読めないことがある。また、測る場面では物差しの当て方がまだ正確でないため、上手く測れないので投げ出しそうになる生徒もいる。方向や位置関係の学習では一列に並んでいるものについて前後の関係は理解できるようになってきたが、左右、上下が加わると理解が難しい生徒もいる。

○ そこで『長さ比べ』や『長さを測る』ことを楽しく活動できる題材として『宝探しをしよう』を設定した。本題材は、『宝を探す』というゲーム的要素の中に長さを比べたり長さを測ったりする活動が含まれているため、目盛りを読むことに苦手意識のある生徒にとっても、ただ単に「長さを測る」という課題よりも、活動に興味を持ちやすくより積極的に取り組むことができると考えられる。また、一人では目盛りが合わせにくい生徒も、チームで活動することで助け合いながら活動を進め、より自信をもって学習に取り組めると考える。

○ 指導にあたっては、まず個別の学習を行い、どこからどこまでを測るのか、物差しをどの向きで当てるとよいのか、0をどこに合わせるのかなどこれまでに学習したことの確認を行い、測定する部分を指でなぞり、物差しの0を合わせる端を指し示すなどの動作をさせることで測ることに意識を集中させていくことを定着させたい。また、『長さを測る』場面では、生徒の実態に応じて、目盛りに数字が書いてある物差しだけでなく、数字の書いていない物差しで目盛りを読んだり、身近なものや自分の体の部位を使って、その何個分であるかなどおおよその長さを測ったりすることも経験させていきたい。

活動の進め方については、生徒同士で関わり合ったりお互いの意見を交換したりするような場面を設定することで、生徒間の関係を深め、より楽しみながら積極的に活動できる場を設定する。

また、板書やプリントで活動が確認できるような工程表を準備し、自分のやっていることに自信が持てなかったり、迷って活動を進めなかったりする時には、工程表を自分で確認するよう促すことで最小限のヒントで考えを進めていけるようにしていきたい。そして、自分もできたという自信や達成感につなげたい。

## 6 題材の目標

- 3つの物の長さを比較するなどの活動を通して、「一番長い」「一番短い」が分かる。
- 身の回りのものの長さを測定する活動を通して、mm、cmを用いた測定ができるようになる。
- 前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を使って、分かりやすく並んでいる物の位置が分かる。

## 7 指導計画

大きさ比べ、長さ比べ	・・・	2時間
物差しで測る	・・・	8時間
体や身の回りのもので測る	・・・	2時間
「宝探し」	・・・	3時間 (本時 2/3)

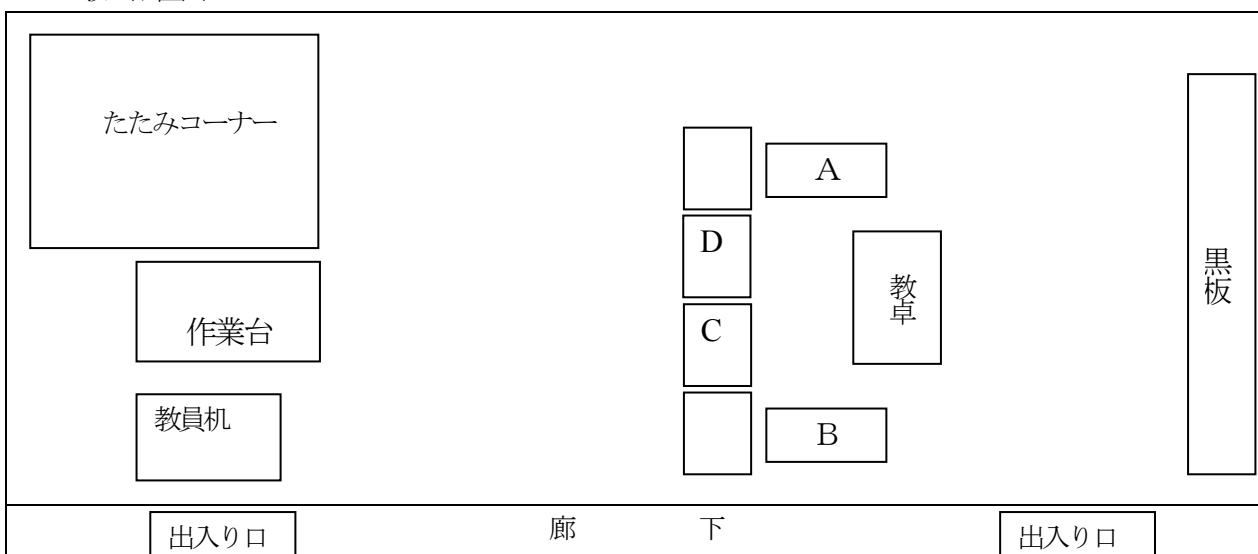
8 本時の目標

生徒	状況	目標
A児 (○年)	<p>肢体不自由、自閉症の他に視覚にも障害があり左目で見ることが多い。3つ以上の物を比べる時には間違えることがあるが、2つのものについて長さの比較は確実にできている。長さを測る時には、右に0を置く測り方は身に付きつつある。数字が書いていない物差しだと長さを測ることは難しいが目盛りに数字が書いてあれば、10cmまでの長さについては長さに相当する数字を確認することができるようになってきている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つのものの長さを比べて、「一番長い」「一番短い」が分かる。</li> <li>・目盛りの0を右端に合わせる事が分かる。</li> <li>・10cmまでの長さにおいて、数字が書いてある物差しの長さに相当する数字を確認することができる。</li> </ul>
B児 (○年)	<p>肢体不自由がある。2つのものについては重ねるなどして比較をすることができる。数字が書いていない物差しだと長さを測ることは難しいが目盛りに数字が書いてあれば、5cmまでの長さについては長さに相当する数字を確実に確認することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの長さを比べて、「一番長い」「一番短い」が分かる。</li> <li>・10cmまでの長さにおいて、数字が書いてある物差しの長さに相当する数字を確認することができる。</li> </ul>
C児 (○年)	<p>自閉症。3つ以上のものの長さを比べる時には間違えることがあるが、2つのものについての長さの比較は確実にできている。目盛りの0をどこに合わせるのかは大体理解している。目盛りに数字の付いていない物差しでは読み違える事があるが、目盛りに数字が書いてあれば、mm単位までの測定ができる。前後、左右、上下の位置関係の把握が難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの長さを比べて、「一番長い」「一番短い」が分かる。</li> <li>・数字の書いていない物差しでmm単位までの測定ができる。</li> <li>・前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を理解し、分かりやすく並んでいるものの位置が分かる。</li> </ul>
D児 (○年)	<p>目盛りの0をどこに合わせるのかは大体理解している。cmの目盛りに数字がついていない物差しでは読み違える事があるが、cmの目盛りに数字がついている物差しであれば、mm単位までの測定ができる。2列以上で左右、上下の位置関係の把握は難しいが、一列に並んでいれば前後の位置関係がわかる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数字の書いていない物差しでmm単位まで測定ができる。</li> <li>・前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を使って、分かりやすく並んでいるものの位置が分かる。</li> </ul>

9 準備物

手紙の拡大版、封筒（練習用、指示入り、シール付、紐付）、物差し、パネル、宝箱、工程表、プリント、パネル

10 教室配置図



11 学習過程

時間	学習内容・活動	教師の支援及び留意点（☆は評価）			準備物
		全体	A児、B児	C児、D児	
14:30	<p>1 前時までの確認をする。</p> <p>○物差しの目盛りを確認する。</p> <p>○測る場所(どこからどこまで)と測り方(物差しの0と端を合わせる)を確認する。</p>	<p>・物差しの準備ができているか確認し、作業が遅い生徒がいれば、声をかける。</p> <p>・作業中に工程が自分で確認できるよう、工程表を黒板に提示しておく。</p>	<p>・数字の入った物差しを使用するよう伝える。</p> <p>・迷っているようであれば、測る場所を指で指し示すよう言葉かけをする。</p> <p>☆物差しの0を端に合わせることができているか。</p> <p>☆数字が書いてある物差しの長さに相当する数字を読むことができているか。</p>	<p>・数字の入らない物差しを使用することを伝える。</p> <p>・迷っているようであれば、測る場所、物差しの0と端を指で示し確認するよう言葉かけをする。</p> <p>☆物差しの0を端に合わせることができているか。</p> <p>☆数字の書いていない物差しで mm 単位までの測定ができているか。</p>	<p>手紙の拡大版</p> <p>封筒</p> <p>工程表</p> <p>プリント</p> <p>物差し</p>
14:45	<p>2 宝探しをする。</p> <p>○ルールの確認をする。</p> <p>・A児とB児、C児とD児でグループを作る。</p> <p>・どちらか一方が進めるのではなく、協力し交代で進める。</p> <p>・長さを測る問題を解いたら、指示の書いてある紙をもらう。</p> <p>○各グループで、別問題を解く。</p>	<p>・目標に近いA児とB児、C児とD児の二つのグループに分ける。</p> <p>・封筒の中の指示を確認するため、読み上げるよう指示する。</p> <p>・測る物の端が分かりやす</p>	<p>・B児だけが動くことがないよう、A児には次にする活動が意識できるような言葉かけをする。</p> <p>・数は声に出して確認しながら数えるように促す。</p> <p>・測る物の端がどこか、注目できるように測る場所を指で指し示すよう言葉かけをする。</p>	<p>・作業工程が分からない時は、黒板に提示したヒントを確認するよう言葉かけをする。</p> <p>・どちらか一方が進め手いるようであれば、協力し交代で行うよう言葉かけをする。</p> <p>・迷っていれば、今までの学習でのポイントを想起するよう言葉かけをする。</p>	<p>指示入り</p> <p>封筒</p> <p>シール付</p> <p>封筒</p> <p>紐付封筒</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長さを測る問題を解く。</li> <li>・3 列に並べてある封筒の中から1通を選ぶ(C児、D児のみ)</li> <li>・長さ比べの問題を解く。</li> <li>・長さを測る問題を解く</li> </ul>	<p>いように、直線に太くはつきり色を付けておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆物差しの0を端に合わせることができているか。</li> <li>☆数字が書いてある物差しの長さに相当する数字を読むことができるか。</li> <li>・長さを比べる時に、端を合わせているか確認し、ずれる場合は、テープでとめるように助言する。</li> <li>☆「一番長い」「一番短い」が分かるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆物差しの0を端に合わせることができているか。</li> <li>☆数字の書いていない物差しで mm 単位までの測定ができているか。</li> <li>・位置を確認する際には、一つずつ指で指し示しながら行うよう言葉かけをする。</li> <li>・長さを比べる時に、端を合わせているか確認し、ずれる場合は、テープでとめるよう言葉かけをする。</li> <li>☆上下左右の位置関係を把握しているか。</li> <li>☆C 児「一番短い」が分かっているか。</li> </ul>	<p>指示入り封筒パネル</p>
15:15	<p>3 見つけた宝物と、苦労した点を発表する。</p> <p>4 片付けをする。 ○封筒や箱など、使用したものを自分たちで片付ける。</p> <p>5 次時の内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりのがんばったところを評価する。</li> <li>・最後の宝探しの予告をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声が小さい時には、みんなに聞こえるようはっきり話すことができるような言葉かけをする。</li> <li>・片づけられないものは、自分から頼むよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何が難しかったかが発表内容に入っていないければ具体的に質問する。</li> <li>・手伝うときは、声をかけてから手伝うように言葉かけをする。</li> </ul>	<p>宝箱</p>